

水戸葵陵高等学校医歯薬コース

2015年7月

医歯薬通信 **SANS FRONTIERES** vol.20

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryo.ac.jp/>

はじめに

平成27年4月7日、第31回入学式が挙行されました。医歯薬コースも第13期生64名を迎え入れることが出来ました。

本校は開校31年目となり6月27日には30周年記念式典が挙行されます。今年の医歯薬コースの1年生は例年になく男子生徒が多く、64名中44名と7割近くを占めています。今までと雰囲気が変わり新たなものを生み出してくれるのではないかと期待しております。ところで、高校生という時期はとかく思い悩み、袋小路から抜け出せない状況に陥る時期です。『易経』の中に「遠からずして元へ復る」という言葉があります。自分の誤りに気づいたら曖昧なまま前に進むのではなく、原点に立ち戻ってやり直してみることです。このことが習慣づけられてくると、結果的に目標達成への近道となります。また、将来医療従事者として活躍するためにも大切なことではないでしょうか。私たち教員はその手助けをし続けて行きたいと思います。

大学出張授業

平成27年3月16日1、2年生を対象に千葉科学大学から4名の先生をお招きして出張模擬授業を開講した。

開講講座は①「災害医療とトリアージ」黒木尚長先生
②「臨床検査技師の仕事について」畑明寿先生
③「薬はどうして効くの？」細川正清先生
④「病気を予防し、健康を守る力を育む看護」安藤智子先生。
各自2つの講座を受講。講義中熱心にメモを取る生徒や、講義後先生方に質問をするなど医療従事者を目指すにあたって大変充実し、有意義な授業となった。



総合学習発表会

平成27年3月13日に1年生の総合学習発表会が行われた。総合学習の時間に、各班ごとに医療に関する調べ学習をし、パワーポイントを使って同コース2年生にその成果を発表する。当時世界規模で流行したエボラ出血熱、日本国内で騒がれたデング熱に加え、最新の医療技術や生物で学習した遺伝子に関する発表などがあった。それまでに、講演会や2年生の発表を聞いた上での発表会であったため、概ね聞く側の目線になって工夫を凝らした発表ができた。しかし、身近な話題であっても刻々と情勢が変化する内容であったり、専門用語が沢山出てきてまとめるのに苦労する内容であったりと、まだまだ調べ学習が不十分な点もあった。発表を聞いていた2年生からの鋭い質問に、上手に答えられない場面も見受けられた。

普段の学校生活では教わる立場であるため、自分の意見を多くの人前で発表する機会に恵まれない。物怖じせず堂々とやり遂げる生徒もいるが、遠慮や恥ずかしさが行動に出る生徒が多い。そういう意味では、調べ学習の内容以上に、生徒達にとって良い経験になっている。将来、医療従事者として患者へ物事を伝える場面になったときに活かすことができる。生徒達は伝えることの難しさとともに、コミュニケーションの大切さも学ぶ良い機会となった。



日立さくらロードレースボランティア

平成27年4月5日、第15回日立さくらロードレースに本校医歯薬コースの生徒約50名がボランティアとして参加した。当日は朝から雨が降るあいにくの天気であったが、ゴールしたランナーの計測チップを一人ずつ回収する作業を担当した。参加人数約1万8千人の大規模な大会のスタッフとして各自責任を持って取り組んだ。ランナーからは「ありがとう」「お疲れさま」などの声を掛けられボランティアとしてのやりがいも感じたようである。

大学出張授業 県立医療大学

平成27年5月28日、県立医療大学から2名の先生をお招きし、1、2年生を対象に出張模擬授業を開講した。生徒は「脳科学とリハビリテーション」沼田憲治先生、「専門職としての診療放射線技師」阿部慎司先生、という2つの講座を受講した。先生方は専門的な内容を身近な例を用いて説明してくださり、生徒達もメモを取りながら熱心に講義を受けた。新しい知識を得て、医療職に対する関心や目的意識も高まった。



2015年度入試結果

進路指導部とは独立した部署として、「進学コーディネーターセンター」という名称の部署がある。その役割は「大学進学情報の収集・分析・提供」であるが、そのなかに『進路資料 2015年』の作成がある。そこで医歯薬通信の第1回目は、『進路資料 2015年』では分からない「医歯薬コース」に限った進路情報を公開する。

平成25年3月～平成27年3月の3ヶ年に卒業した生徒たちの進路先一覧である。国公立大学、私立大学別に、さらに、進学先を系統別に分類し、進学した実数を()に示した。

過去3ヶ年(H25年～H27年)医歯薬コース生徒の進学先(実数)卒業生142名

国公立大学進学者 茨城(5)茨城県立医療(7)筑波(6)福島県立医科(2)
秋田(1)秋田県立(1)富山(1)山形(2)北海道(1)帯広畜産(1)東京医科歯科
(1)お茶の水女子(1)東京工業(1)静岡(1)埼玉(1)金沢(1)島根(1)鹿児島(1)

私立大学進学者 昭和(5)東京薬科(7)千葉科学(4)日本(3)国際医療福祉(6)
つくば国際(3)帝京(3)帝京平成(2)横浜薬科(2)同志社(2)早稲田(2)
日本歯科(2)北里(2)駒澤(2)東京農業(2)奥羽(2)杏林(2)獨協医科(1)
東京医科(1)慶應義塾(1)茨城キリスト教(1)埼玉医科(1)聖徳(1)星薬科(1)
東京工科(1)東京電機(1)東洋(1)明海(1)獨協(1)了徳寺(1)順天堂(1)
城西国際(1)神奈川工科(1)東京家政(1)東京都市(1)東京音楽(1)日本薬科(1)
ルーテル学院(1)群馬パース(1)

過去3ヶ年(H25年～H27年)医歯薬コース生徒の進学系統(実数)

**医学(9)歯学(8)薬学(23)看護(14)獣医(1)臨床検査(4)放射線(3)
理学療法(6)作業療法(3)臨床工学(1)畜産(1)生物系(4)化学系(4)
数学系(4)工学系(16)環境系(2)教育(2)栄養(2)その他(8)**

本校の卒業生のうち医学部医学科で学ぶ学生や研修医は34名に到達している。また女子生徒は資格志向が強く、国家試験など資格取得を主とする学部、就職に強いと言われる薬学部、看護学部、理学療法、臨床検査などに多くの生徒が進学している。

ここ3年は家計の教育費負担の増加、就職活動の厳しさ、教育課程が新課程への移行期間に入っていることなどを背景に、東京などの「都市部志向」から、生活費の負担が少ない「地方志向」、さらに授業料の負担から「国公立志向」、浪人＝教育課程の変更から大学名などにこだわらない「安全志向」、できるだけ就職に有利な学部を選択する「資格志向」の4つの傾向が見られる。現在の在校生の志望も薬学部が最も多く、今後もこの傾向は続くと思われる。

1日医師体験

平成27年4月1日水戸市の城南病院にて行われた一日医師体験に参加しました。医師や患者さんと触れ合い、実際の医療現場を訪れることで「将来の医師像」を思い描き、受験勉強へのモチベーションを高めることができました。以下参加生徒の感想です。

私は、今回の医師体験を通して、病院の普段は見ることのできない面を知ることができました。私は医師を目指しているため、今回城南病院で得た知識や経験を生かせるようになりたいと思いました。この体験を通して本当に医師になりたいという意思を再確認できたので、受験勉強を頑張りたいと思います。

城南病院は私の持っていたイメージとは異なり、働いている人が楽しんで働いているので、自然と患者も笑顔になることができる病院であると感じました。もし、私が医師になったらこのような明るい現場で働きたいです。(3年)

7月8月の行事予定

～ 7月 ～

1日(水)MT(～3日まで)
4日(土)医学部進学者対象講演会
5日(日)英語検定(2次)
6日(月)WT(2年:英, 1年:国)
7日(火)野球応援(竜ヶ崎一)
9日(木)進研模試(1～3年)
10日(金)漢字検定
11日(土)数学検定・葵陵旗剣道大会
14日(火)WT(2年:国, 1年:数)
18日(土)終業式
19日(日)学習合宿I(22日まで)
21日(火)三者面談開始
25日(土)第1回本校見学会
27日(月)夏季課外I期(7月31日まで)

～ 8月 ～

1日(土)学習合宿II(～4日まで)
2日(日)第2回本校見学会
3日(月)第3回本校見学会
4日(火)夏季課外II期(～7日まで)
6日(木)サイエンスイマージョン(～7日まで)
17日(月)夏季課外III期(～21日まで)
21日(金)漢字検定
24日(月)教えて先輩
夏季課外IV期(～27日まで)
28日(金)河合塾模試(1・2年)